

社長年頭挨拶 (2018/01/04)

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

昨年暮れから新年にかけて 6 日間のお休みがありました。短い期間ではありましたが、皆さんそれぞれゆっくり休養、リフレッシュされ、気持ちも新たに明るく元気に新年を迎えられた事と思います。

私もお蔭様でこの 6 日間、ゆっくり休養を取らせて頂き、昨年の疲れを癒すと共に新たな鋭気を養って、これからの一年に備える事が出来たと思っています。また毎年事ではありますが、年末年始にも拘らず、流通事業部、リテイル事業部、そしてロジスティクス・オペレーション・センターの一部の皆さんには、お休みの期間中も出社して頂いたり、また得意先からの連絡に対応して頂いたりと、大変にご苦労様でした。ありがとうございました。

さて、2018 年がいよいよスタート致します。この 1 年が皆さんにとって、またわが社にとって、充実した 1 年間になることを、先ずは心から祈念致します。

さて、振り返ってみますと昨年は、世界の情勢、日本の情勢も色々と大きな変化、色々な事件が起きて大きく動いてきました。

世界的にみると北朝鮮によるミサイル・核開発に対して世界中が反発をして、国連の安全保障理事会で何度も経済制裁を決議する事がありました。また、米国においてはトランプ政権が誕生し、あまり予想が付かないような新しい政策が次々に打ち出され、その度に世界が大いに揺れ動く事もありました。

一方、日本に於いては昨年の秋に衆議院の解散、まさかの総選挙があり、大変にビックリしましたが、与党の自民党が大勝致しました。日本経済は比較的順調に改善をしてきて株価は大幅に上昇をしました。雇用の状況を示す有効求人倍率も上昇しましたが、その一方で深刻な人手不足が進行する事もありました。

今年も引き続き何が起こるか分からない、予測が非常に難しい一年になると思っています。

米国の北朝鮮に対する動き、貿易の不均衡な国々に対する政策がどのように出ていくのか、また EU から離脱を決めた英国の EU 諸国との交渉がどのように推移するのか。ある



いは中東情勢、イスラム国については衰退をしても、まだテロの脅威は依然としてありますし、イスラエルとパレスチナは非常に緊張が高まっている状況の中で、引き続き予断を許さない状況が続く事になります。一方、日本の国内においても、今まで好調だった経済がどのように動いていくのか、また、憲法改正問題がどのようなになるのか、あるいは来年になりますが、消費税増税を控えてこの実施に対してどのように対応していくのか等々、昨年以上に政治・経済面での変化が激しい年になるのではないかと考えています。

その中でわれわれを取り巻く包装業界、パッケージングの業界がどのように影響を受けるのか。また、わが社の仕事、わが社の活動がどのような影響を受けていくのか。われわれはそれに対してどのように戦略を立てていくのか。また組み直していくのかを考えていかなければなりません。常にアンテナを高くし、従来以上に感度を上げて世の中の流れやトレンドを敏感に感じとって、それに対応していく事が必要だと思っています。

皆さん方が大変に頑張って頂いたお蔭で、わが社の今年度の業績は昨年に引き続き非常に順調に推移を致しています。ただ今後の環境は非常に厳しいものがあり、次年度である 2018 年度は全社員が更に力を合わせていかなければいけない状況になると思っています。

こうした環境を踏まえて、昨年はわが社の更なる成長に向け、2020 年を最終年度とする中期経営計画「Professional PRIDE' S 2020」を策定致しました。パッケージングのプロフェッショナル、包装業界のリーディングカンパニーを目指し、売上高 2,020 億円という思い切ったチャレンジングな目標を掲げて、この中経をスタートさせております。そしてこの目標の実現のために「マーケティング・開発機能」「サプライヤー機能」「グローバル対応力」「物流機能」そして「組織力」を徹底的に強化し、向上をさせる事を経営戦略としています。この事については、昨年も私の口から直接皆さんにお話をしてきました。

またもう一つ、わが社の経営資源で一番大事なものは「人」です。昨年もわが社の機能を一層充実を図るために、経営資源の強化として、昨年は新入社員及びキャリア社員を積極的に採用致しました。わが社社員数は派遣社員の方を含めると約 300 人に達しました。今年も引き続き積極的な採用を図っていきます。新入社員も 11 名が入社する予定ですし、また、優秀なキャリア社員採用も更に進めていきたいと考えております。

さて、ここで皆さんに本日は、二つのキーワードについてお話をさせて頂きたいと思います。

一つ目は、「環境変化への対応」、そして二つ目は「チャレンジ精神」です。

先程もお話しました様に、わが社を取り巻く環境は大きく変化をする可能性が

あります。わが社は創設以来、順調に業績を伸ばして現在の成功を収めているわけではありますが、これはわれわれの優秀な先輩社員の方々がいらして、そしてまた素晴らしい取引先にも恵まれて、その先輩の皆さんの知恵と努力のお蔭で、順調に成功、成長することが出来たと思っています。しかしながら、今後われわれを取り巻く環境は年々大きく大変な勢いで変化をしていきます。これまでの同じようなやり方に留まっていたのでは、時代から取り残されていってしまいます。そのために、わが社が包装業界で生き残り、そしてまた成長をしていくためには、この環境の変化にきちんと対応していく必要があるという事です。

ご存知の様に、生物の世界でも強いものが生き残るのではなく、環境に適合していったものだけが生き残ると言われております。ただ、環境の変化が起こってから対応するのでは既に遅く、どのような環境変化が起こっても対応する事ができる準備を普段から整えていく必要があると考えます。

今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）です。従来戌年と言うのは前年の酉年までに色々と種を蒔いて準備してきたものが結実する年、そしてまた来年の亥（いのしし）の年に一気にスタートする、一気に飛躍する年に備えた万全の準備を整える年と言われています。来年一気にダッシュをするためにも、今年はこれまでやってきた施策を一気にさらに磨きをかけて結実させることが必要だと思っています。皆さんも、そう言った意味で、わが社を取り巻く現在の市場あるいは環境を改めて冷静に分析すると共に、将来の変化を予測して、わが社自身の機能強化、変化への準備を滞りなく進めていって頂きたいと思います。

二つ目のキーワードとしては「チャレンジ精神」です。人は誰しも未知の物、未知の世界に踏み出していくには臆病になりがちです。今が何事も起きていなければ、敢えて冒険を冒すことに躊躇しがちなものです。しかしながら、チャレンジなくして成功はありえません。現在のわが社の成功は、先輩社員が常に

チャレンジしてきた事の集大成と考えています。

現在の、また、未来のわが社が、持続的に成長していくためには、今、われわれ自身がイノベーターとして新たにチャレンジしていく事が必要だと考えております。止まっていたのでは、留まっていたでは何も新しいこ



とが起きない。一步踏み出してみる勇気が大切だと思っています。
新しい取引先、新しい商品、新しい事業、新しい取り組みに、是非積極的にチャレンジしていった頂きたいと思っております。
以上、2つのテーマについてお話をさせて頂きましたが、このテーマの実現のため、私を含めて社員全員の意識が変わっていかなければならないと思っています。
最後になりますが、これは毎年申し上げている事ですが、法令遵守、コンプライアンスを最優先に皆さんに心掛けて頂きたいと思います。
また、三菱商事グループ企業の一員としてのプライドを持って、そして品位ある、品格のある言動を心掛けて頂きたいと思います。

これからの一年間、大きく環境が変化をしていく年になると思います。今年の中経の初年度の最終段階、そしてまた中経の2年目に入っていく年ですが、三菱商事パッケージングにとっては非常に重要な年になると思っています。この重要な時に、皆さんと力を合わせて今年1年間で、わが社にとりまして、また皆さんにとりましても、充実した輝かしい1年となるように一緒に力を合わせて頑張っていきたいと思います。
どうぞよろしくお願いを申し上げます。

以 上